

人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献

AQUA REPORT

第16期 | 2019年12月期 中間
(証券コード:1429)



キーワードで見る
日本アクア

No.1
シェア

現場発泡断熱材
アクア
フォーム®

原料開発から
施工・施工後の
検査・確認、そして
リサイクルまで

全国

施工実績累計

0
ゼロ

地球に優しい
断熱材
フロンガス
ゼロ

自社で
一括管理

286,500棟

※ 2019 年度中間期末時点

●●● AQUA の技術 ●●●



アクアフォーム® 紹介ページ

日本アクアを支える「アクアフォーム®」は、温室効果の大きいフロンガスを使わず、水を使って現場で発泡させる断熱材です。水を含むポリオールとイソシアネートを混合することで発生する炭酸ガスを発泡剤として使用する、人と地球に優しい硬質ウレタンフォーム素材となっております。

詳細は web でご確認ください。 >>> <https://www.n-aqua.jp/products/aquaform/>



アクアフォーム® のムービー



日本アクアの製品をご紹介します!



アクアモエン®
断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム



アクアフォーム®NEO
環境性能と熱伝導率を両立



アクアAフォーム
環境性能に優れた汎用タイプ



アクアBフォーム
断熱性、耐水性、耐薬品性



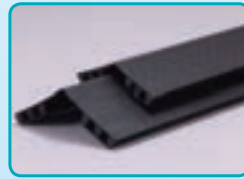
アクアフォーム®
木造戸建の高気密断熱材



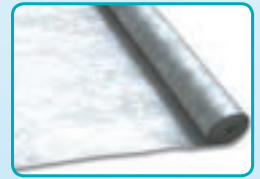
アクアフォーム®NEO+TP
防蟻処理済みアクアフォーム®



アクアEシリーズ
屋根用通気・遮熱



アクアスルーシリーズ
棟換気・軒換気



アクアウォールシリーズ
外壁の遮熱・防水



換気システム
排気型集中換気システム



アクアパッキン
木造戸建基礎用気密パッキン



アクアフォーム®1液性ハンドタイプ
あらゆる断熱施工の補助製品



アクアタイトシリーズ
床根太・床仕上げ接着剤



アクアブロー
硬質ウレタンブローイング材

NEW 新商品開発 アクアモエン®

概要

不燃性断熱材アクアモエン®が7月12日付で建築基準法に定める不燃材料の規定に適合するものであることを国土交通大臣により認定されました。

アクアモエン®は、建築現場の要望から生まれた耐炎特性を持つ JISA9526 に規格される建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームです。特殊樹脂配合により高い耐炎性能を実現できました。建築現場では、溶接や鉄骨溶断、溶接の火花が発生することがあります。アクアモエン®は、高い耐炎性能を発揮し、建築現場や日常の火災リスクから安全を確保します。



特徴

- **特殊樹脂配合により現場吹付け可能で優れた耐炎性能**
→ 約1,500℃の燃焼温度になるバーナーを用いた40秒間の燃焼性試験では表面が炭化し着火しない。
- **工期の短縮**
→ これまでは湿式不燃施工は、ウレタンフォーム吹付け施工後にプライマーを塗布し乾燥時間を待たなくてはならないため、時間がかかっていましたが、アクアモエン®は1回の断熱施工で耐炎性能が得られるので工期短縮を実現。
- **優れた耐久性**
→ 繊維系や無機系のコード断熱材と比較して施工後も圧縮や引張などの応力に対する耐久力や躯体への接着強度に優れるので脱落等が生じにくい。
- **ノンフロンで環境に優しい**
→ 発泡剤に採用したHFO※1は、オゾン層破壊係数が"0(ゼロ)"、地球温暖化係数(GWP※2)も"1"で高断熱性能なため、建築物の省エネルギーに寄与し地球温暖化防止に貢献。
- **断熱効果に優れた先進の発泡断熱材**
→ アクアモエン®は、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1H(JISA9526A 種1H)。熱伝導率は0.026以下で高い断熱性能を持つ。

※1 HFO
ハイドロフルオロオレフィン、現在、先進国では地球温暖化係数(GWP)の高いHFC類を全廃し、環境負荷の極めて小さいハイドロフルオロオレフィン(HFO)類へ転換する流れが加速しています。

※2 GWP
地球温暖化係数(GWP:Global Warming Potential)とは、二酸化炭素を基準にして、ほかの温室効果ガスがどれだけ温暖化する能力があるか表した数字のこと。ここでは一般的に用いられる100年間の数値GWP100を示しました。

施工力アップで 市場シェア拡大

原料倉庫・自社工務設置拠点

2018年新潟県総着工戸数 **11,672戸**

アクアフォーム®施工実績 **1,695戸**



●●● TOP MESSAGE ●●●

人と地球に優しい住環境創りに貢献してまいります。

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は「人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献」という経営理念を基に「アクアフォーム®」を中心とする硬質ウレタンフォーム断熱材の施工・販売に注力してまいりました。

戸建住宅部門は、住宅着工戸数の増加の影響と「アクアフォーム®」の商品力及び施工力を生かした営業展開が奏功したことから、売上高は前年同期比で14.0%増加しました。建築物部門においては、東京オリンピック関連物件の着工が本格化している影響から受注状況は引き続き好調に推移しており、売上高は前年同期比で28.2%増加しました。その他の部門においては、副資材において売上高は前年同期比で17.1%の増加となりましたが、機械販売においては前年同期比で71.2%の減少、原料販売は前年の原料の供給不足が回復したことから、前年同期比で110.2%の増加となりました。

利益面においては、昨年後半になってアクアフォーム®の原料であるイソシアネートにおいて、供給不足の解消による価格の低下もあり、営業利益は前年同期より大幅に改善いたしました（前年同期比1,502.9%増）。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、10,003百万円（前年同期比13.1%増）となりました。営業利益につきましては、722百万円（前年同期比1,502.9%増）となり、経常利益は720百万円（前年同期比1,607.6%増）となり、四半期純利益につきましては470百万円（前年同期は5百万円の四半期純損失）となりました。

株主のみなさまには、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長
中村 文隆

決算ハイライト

売上高	10,003 百万円
営業利益	722 百万円
経常利益	720 百万円
四半期純利益	470 百万円

中期経営計画策定

4つの基本方針

- 毎年1%以上のマーケットシェアの獲得
- シナジー効果のある新規事業への進出
- 安定成長に伴う株主還元強化
- コーポレート・ガバナンス強化

数値計画

売上高 300 億円	営業利益 25 億円
ROE 15% 以上	配当性向 50%

詳細は、ホームページをご覧ください。 <https://www.n-aqua.jp/ir/library/result/>

●●● 会社概要 ●●●

商号 株式会社日本アクア
英文社名 Nippon Aqua Co.,Ltd
代表取締役 中村 文隆
本社 〒108-0075
東京都港区港南 2-16-2 太陽生命品川ビル 20F
TEL: 03-5463-1117 FAX: 03-5463-1118
設立年月日 2004年11月29日
資本金 19億1百万円
事業内容 建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工
住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
従業員数 463人(単体)

●●● 役員 ●●●

(2019年6月30日)

代表取締役	中村 文隆
専務取締役	村上 友香
常務取締役	平野 光博
取締役	江川 弘
社外取締役	土谷 忠彦
社外取締役	裕田 由貴
社外監査役	玉神 順一
社外監査役	中西 勇助
社外監査役	仁科 秀隆
社外監査役	近藤 弘

●●● ホームページのご紹介 ●●●

Top page



IR page



<https://www.n-aqua.jp/>

または、

日本アクア

スマートフォンからも
ご確認いただけます。



●●● 株主メモ ●●●

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

基準日

毎年12月31日

定時株主総会

毎事業年度終了後3か月以内

単元株式数

100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-711(通話料無料)

郵送先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法

当会社の公告は、電子公告により行います。

<https://www.n-aqua.jp/>

但し、やむを得ない事由により、電子公告によることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。



NIPPON
AQUA

株式会社日本アクア <https://www.n-aqua.jp/>